

会 議 録

会 議 名	第 2 8 期小金井市公民館運営審議会第 7 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 1 8 年 4 月 2 8 日 (金) 午後 2 時 3 0 分から午後 5 時		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A・B		
出 席 者	委 員	島田委員長 田頭副委員長 大橋委員 長田委員 神島委員 熊谷委員 竹内委員	
	そ の 他		
	事 務 局	石川教育部次長 中嶋館長 鉄谷庶務係長 中福事業係長 鈴木主査 上島主査 長堀主査 葛城主査 渡辺社会教育主事	
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 平成 1 8 年 4 月 1 日付け職員の人事異動について</p> <p>(2) 平成年度東京と公民館連絡協議会定期総会の結果について</p> <p>(3) 第 1 9 期小金井市公民館企画実行委員選出について</p> <p>(4) 公共施設予約システムについて</p> <p>(5) 平成 1 8 年度予算について</p> <p>(6) その他</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画・報告について</p> <p>(2) 公民館の基本方針づくりについて</p> <p>(3) その他</p> <p>3 配布資料</p> <p>(1) 公民館職員の人事異動</p> <p>(2) 各館事業の計画・報告</p> <p>(3) 平成 1 8 年度 公民館予算</p> <p>(4) 第 6 回審議会会議録</p>		

会 議 結 果

1 報告事項

(1) 平成18年4月1日付け職員の人事異動について

中嶋館長 配付資料により説明

石川次長 4月1日付けで管財課から異動しました、石川明です。よろしく願
いいたします。

3月に第三次小金井市基本構想後期基本計画が平成18年度から5
年間策定され、第3章の3でコミュニティ活動と生涯学習という項目が
あり、施設の充実と誰もが参加しやすい多様な学習機会の提供、市民の
自主的な活動への支援等が重要な課題と位置づけられています。

本年4月から社会教育施設に公共施設予約システムが導入され、初期
的不具合等から利用者の皆さんにご迷惑をおかけしましたことをお詫
びします。この予約システムは利便性の向上のため実施しましたのでご
理解、ご協力をお願いします。

さて、公民館ですが社会教育施設として中心的な活動の場になってい
ます。公民館運営審議会委員のご尽力に感謝をしております。私も行政
を預かる身としまして日々研鑽を重ねてまいりたく、今後とも社会教育
行政並びに生涯学習を推進して参ります。よろしく願います。

(2) 平成18年度東京都公民館連絡協議会定期総会の結果について

中嶋館長 4月19日(水)午後2時から東大和市立中央公民館ホールで平成1
8年度東京都公民館連絡協議会(以下、都公連)定期総会が開催され代
議員数105人中、83人の出席と15人の委任状提出により総会は無
効に成立しました。

平成17年度の事業報告、一般会計決算と特別会計決算の認定及び規
約の改正等は承認となりました。報告事項では、三鷹市が平成18年3
月末日付けで脱会届の提出があり、4月1日付けで羽村市が再加盟しま
したので都公連の加盟数は17市1町に同じです。今後、横の連携をよ
り深めると共に未加盟の自治体へアピールしていきたいと思えます。

次に今回の定期総会で平成18年度都公連役員の承認及び平成18
年度運営方針が承認され小金井市が第44回東京都公民館研究大会の
事務局市となりました。

会長兼館長部会副会長 町田市 落合 忠繁館長
副会長・次期会長市 東久留米市 町田 富士雄館長
副会長・大会事務局 小金井市 中嶋 登館長
理事9人(研修担当・長堀雅春、大会事務局・上島良一)
監事2人、事務局長1人(まちだ市中央公民館)

なお、昭和50年2月25日第13回研究大会を開催してから31年
ぶりに小金井市で開催しますが、各加盟市の脱会の動き等を視野に入れ
て小金井大会では全体会を簡素化し、研修の充実を図る方向でこれまで

説明を承されてきています。来賓として市長、教育長、東京都社会教育課長のご挨拶を予定しています。

開催日は、平成18年12月3日(日)午前9時30分(予定)

開催場所は、小金井市立小金井第二中学校

公運審におかれましてもご協力お願い致します。

なお、第1回企画委員会を4月20日に行いました。その結果につきまして大会事務局の上島主査から報告を致したいと思います。

上島主査

4月18日に大会テーマ案、課題別テーマ案について検討し、それをもとに企画委員会で決定しました。

大会テーマ「地域づくりに果たす公民館のあり方と新しい創造」

課題別8テーマ「指定管理者制度」「団塊の世代」「障害者」「子育て支援・女性」「公民館の役割」「国際交流」「公民館だより」「高齢者の学び」

第2回を5月18日(木)午後1時30分から開催します。

中福係長

一つは、資料5、6、10番目をひとつにしたので8テーマとした。

当日参加の状況では、議論が活発でなかった。原因は、参加職員が新人であること、委員部会の公運審委員の出席が少ないことです。各市1名は必ず出ていただきたい。特に次年度開催される昭島市においては引継ぎのためにも複数名参加していただき、都公連全体として組織で対応してもらいたい。組織強化を要求していたのですから加盟各市の協力を得たい。

島田委員長

都公連全体に協力を訴えかけていくと同時に、小金井市の各委員も多数参加することによって活発化させていくことが大切になると思います。

小金井市は、当番市として大会を成功させるため実務的に忙しいわけですが、出席が悪く議論が低調であると今後が心配になりますね。

中福係長

全都的な取り組みであり、会長市が組織的な動きをしていただかないと小金井市だけではどうすることもできません。

長田委員

全体の動きが分かりません。今後の日程でも誰が何をすれば良いのか説明が必要です。

中福係長

課題別集會に早く入り、そのグループの中で深く議論をしていきたい。進行調整は事務局がいたします。

島田委員長

全体計画や進捗状況の資料があると良いのではないですか。

長田委員

公運審委員、企画実行委員がもっと出て行かないと話が見えなくなることが心配です。

中福係長

都公連として組織強化や各市の対応が遅れています。都公連役員会が引っ張っていかなければいけません。

神島委員

今年の1回目は、自己紹介から始まったのですか

熊谷委員

自己紹介はありませんでした。館長から取り組みについて話がありました。

神島委員 今回は、新人が多かった。前年は4回くらいかけてやったことを1回で済ませようとしたため無理があったのではないのでしょうか。

中福係長 3年以上のベテラン職員に出てもらいたかったが、各市の事情や慣例で新人の参加となった。

(3) 第19期小金井市公民館企画実行委員選出について

中嶋館長 企画実行委員の設置について小金井市公民館条例第21条に「公民館に公民館の行う各種事業の専門的な事項を調査研究並びに企画実行に当たるため青少年教育、成人教育、文化活動及び視聴覚ライブラリーの公民館企画実行委員を設ける事ができる」とあります。

また、小金井市公民館企画実行委員選出要綱により成人教育・文化活動部門の委員数は、各館6人以内5館で30人以内となります。

この度、第18期委員の任期が平成18年7月20日に満了しますので第19期の委員候補者の募集をすることとし、各種団体からの推薦並びに市民公募委員の募集を市報5月15日号に掲載しました。

任期は平成18年7月21日より平成20年7月20日まで。

説明会は、6月6日(火)午後2時から公民館本館

推薦・立候補締切日は、6月14日(水)午後5時

候補者調整会は、6月20日(火)午後4時から公民館本館

7月11日(火)の教育委員会に企画実行委員候補者名簿の議案提出、委嘱状の伝達は、7月21日(金)午前10時から公民館本館を予定しています。

(4) 公共施設予約システムについて

中嶋館長 6月分の受付が3月20日から開始となり3月末日に抽選受付を締切。4月1日(土)から7日(金)の調整期間を4月5日から9日に変更してシステムの初期不具合の解消措置をとり、安定的な稼働を目指しました。

なお、現在7月分を4月20日から受け付けていますが市民からの苦情は激減しました。

原因については主に新しいサービスとして抽選申込みをして即抽選をするのではなく、調整期間を設けて重複した場合に空いている部屋等を予約することのできる新機能を設けた事と従来からのサービスが提供できるよう部屋のセット予約が出来るようにしたことと不具合の発生となったとの説明がありました。

竹内委員 時代の流れかもしれませんが、何のための機械化なのか。

十分な準備をし、問題点にはできるだけ早く対応していかないと年配の方には大変です。

石川次長 利便性があると思われるよう努力してゆきたい。

(5) 平成18年度予算について

島田委員長 館長としての新年度の抱負も踏まえて説明してください。

中嶋館長 3月28日市議会定例会の最終日、一般会計予算は賛成多数で原案通り可決されました。平成18年度公民館の予算額は2億581万3千円。対前年度比7%の1,454万円増となっています。人件費は除きます。

(仮称)貫井北地域センター用地取得年賦分1億847万2千円が53%を占めています。

7%増の内訳は緑センターの改修工事として冷暖房機器、ロビー照明等、貫井南センターの耐震診断委託はまちづくり交付金を受けての実施、第44回東京都公民館研究大会に係る郵券・消耗品・印刷製本費、備品関係です。

18年度については、部屋予約システムの安定稼働並びに公民館研究大会を成功させるという点です。また、これまでの長い公民館の歴史を引継いでいくだけではなく、2007年問題等で地域に戻ってくる団塊の世代の方たちの受け入れをしていける場所を提供できるように対応していく。その三点を踏まえていきたいと思います。

島田委員長 特に三点目をよく踏まえて新しい公民館の基本方針を考えていきたいと思います。

大橋委員 清掃業務の非常勤嘱託職員、定期清掃委託、公民館清掃委託の三種類について説明してください。

中嶋館長 民間業者への定期清掃委託費、東分館で清掃の非常勤嘱託職員への報酬、シルバー人材センターへの清掃の委託費です。行財政改革に沿って清掃は委託になる予定です。

竹内委員 東分館だけがシルバーに委託していないのは事情があるのですか。

中嶋館長 清掃業務には応募が少ないので全館一斉にシルバーに委託するのが難しいと言う点があります。平成19年度から全館委託に移行していきます。

竹内委員 全体的には厳しい条件の中で予算的には確保できたと思います。人件費を含めると3億4,500万円ぐらいが公民館費ですが、用地取得費用などを考えると厳しい予算だという事ですね。

島田委員長 これは基本方針作りの中でも議論になっていくと思いますが公民館予算の構成をどう考えるべきかという問題があります。本来公民館費とは市民一人当たりどれぐらいが望ましいかという議論も含めてあるべき姿が議論されるべきです。他市比較がその場合必要となり、その上で必要な予算を要望して行くべきだと思います。

(6) その他

ア 第11回東京国際スリーデーマーチについて

中嶋館長 東京の緑あふれる多摩、武蔵野を舞台に、五月晴れのもとで内外の多

くのウォーカーと健康づくりと国際親善を皆で楽しむ国際ウォーキング祭典が開催されます。

武蔵野中央公園が手狭になり、都立小金井公園いこいの広場で開催することとなります。

主催は、(社)日本ウォーキング協会、小金井市、市教育委員会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社となります。

日 時 5月3日(水)～5日(金) 祝日の3日間

ルート 5、10、20、40、キロと小金井公園内2キロの13コースがあります。当日受付もありますので、委員の皆さまもご参加ください。

イ 障害者青年学級「みんなの会」の表記について

中嶋館長 昭和50年6月に開設した学級ですが、正式な予算書等には障害者を付しますが、対外的には障害者を省いた表記といたします。

2 審議事項

(1) 各館事業の計画・報告について

島田委員長 貫井南分館成人大学「江戸野菜を作ろう」の参加者の感想文を見ると市民が今、何を求めているかがわかります。

予算書には学級名や講座名が出ていたり、園芸等中身が出ていたりし、わかりづらい。どういう活動をしているのかが分かる計画書や予算書が考えられて良いのではないのでしょうか。

中嶋館長 平成16年度までは国の交付金があり、交付決定を受ける予算立て、事業立てとなっています。予算書と事業のまとめを合わせて見ると分かりやすいと思います。

島田委員長 これから対象別の議論を進めていくと良いでしょう。

竹内委員 予算を立てる際の積み上げが資料としてあれば分かりやすい。予算を立てる際に方向付けを明確にすれば、職員と企画実行委員が創意工夫して講座を計画しやすくなると思います。

石川次長 委員長とご相談させていただきなごらいい方向へいくように検討させていただきたいと思います。

田頭副委員長 緑分館の成人学校の報告で、本講座終了後に更なるステップとして障害者福祉センターで実施予定の手話講習会を紹介したとあり、次につなげていくことに魅力を感じました。紹介したその後の反応はいかがでしょう。

葛城主査 特に反応はありませんでしたが、小金井市の手話通訳協会から毎回いろいろな方が来て話を聞けるので、障害のある方に接する動機付けができたのではないかと思います。

田頭副委員長 講座を受講された方がその後地域の中でこういった動きをされているのかがわかると次の方にとっても励みになるのかと思います。

葛城主査 その後、小金井市手話通訳協会に入会される方もいました。
島田委員長 活動が一つの講座に留まらず広がりを持つ事が確認できました。

(2) 公民館の基本方針づくりについて

島田委員長 小金井市生涯学習推進計画を勉強してみようという提言がありました。これを読んだ上で自由なディスカッションをし、それを踏まえて方針づくりを考えていきたいと思います。

推進計画を読んでお感じになった点をお話してください。

大橋委員 非常によく出来ている冊子ですが、市民参画を謳っているのに最後になると役所に全部ふってしまっている。この審議会でも市民に対して呼びかけていくべきだと思います。

竹内委員 これは庁内のそれぞれの担当を明らかにしたものであって市民参画を否定しているものではないと思います。

大橋委員 それはそれでいいと思いますが、冒頭に市民参画を謳っているのでもう少し図式的なものを示してもいいと思います。

竹内委員 その冊子を基にしてさらに具体的に、例えば平成18年度小金井市公民館運営の基本方針のようなものがあって各館がこういう事業をやる、という計画や目標のようなものがあれば一番分かりやすいと思います。その中で市民参画も盛り込んでいけばよいと思います。

島田委員長 これはいろいろな意見があって良くて、ひとつにまとめられるものではないと思います。私の印象としてはだからこそ公民館があるのだと思います。そうした時に公民館もあるし何課もあるという各担当部局の課題が並んだだけではないかという印象になるので、環境問題でも福祉問題でも公民館の事業で積極的に受け止めて学習課題にしていくことが望ましいという意見だったのではないのでしょうか。

竹内委員 それはこの生涯学習推進計画書の中では無理だと思います。全体の生涯学習を進める上での公民館は、一部分を担っている訳ですから。児童館は児童館運営基本方針をたてて、各館ごとに事業目標をたてています。公民館にもこれがなければいけない。職員の頭の中にはあるのだろうが、具体的に文書で出てこない。だから公運審が結果を迫認することになっているのではないか。

島田委員長 この平成9年にまとめたものは8ページに載っていますが随分疑問点があります。個人的な立場で申し上げますが2番目にいきなり「受益者負担を原則として」と出てきてしまう。

竹内委員 疑問に思い前中川次長に質問したところ、これは平成10年の提言であって、現在の案ではそういう考えはとっていないとの事でした。

島田委員長 「後継者育成」というのも「新しいまちづくりの担い手」などと書いてほしい。「跡継ぎ」というのでは消極的です。「NPO」とも書いてありますが「NPOを含めて」としないと。時代ごとに発展させて受け止めていかなければいけないと思います。

石川次長	<p>この生涯学習推進計画ができたことが小金井市としては一定の生涯学習体制を進めていく上で基本的な状況がつけられたと思っています。</p> <p>生かすも殺すもやはり市民であり行政職員であると思っていますので以後発展させていただきたいと思います。</p>
長田委員	<p>小金井市の社会教育の目標の中に公民館活動の充実という項目があって、これがその年の具体的な基本になっていると思っています。</p> <p>こういうものをもっと出していくという話ではないでしょうか。何を基にしてどういう程度のものをつくるかという事ははっきりしておく必要があると思います。</p>
島田委員長	<p>事業のまとめや毎回出される事業の報告・計画を一定年数まとめてみるとこの公民館はこれまで何をやってきたのかという事がわかります。</p> <p>領域によって重点が置かれたものや年によって変わったものを整理してみると公民館活動の充実をこれから考える上での一つの手がかりになるが、それは過去のものだからそれを踏まえてこれからという、これからの基本を示した報告書の検討と共にこれまでにやってきたものの総括も並べてある、ということが次には課題になるのではないのでしょうか。</p>
大橋委員	<p>学んだ事が地域で活かせる環境を整備する、と小金井市生涯学習推進計画にあります。今度の公民館研究大会でも地域に果たす公民館の役割というのがテーマです。推進計画の21ページにも生涯学習における目標で成人期に地域活動への参加とあり、高齢期には学習成果の地域への活用とあります。17ページには図式がありまして、一番大きな目標の3つ目として「まちへの愛着」とありますがこれも地域づくりです。今回の「江戸野菜」も「手話」も地域づくりの一環としての意味合いがありますが、公民館で地域づくりにどうやって取り組んでいくかが大事だと思います。公民館大会と絡めてここで話し合っただけで方向性を見つけられるといいと思います。</p>
田頭副委員長	<p>18、19ページに施策の内容がどのようなものか記されています。基本理念の下に基本目標が3つ示されていますが、公民館としてはこの事業はどれを目標としてやってきた、という事が分かる計画と報告があれば、市民に公民館活動のアピールになるのではないかと思います。</p>
神島委員	<p>小金井市生涯学習推進計画は、企業であるコンサルタント会社が骨格を作り審議委員の皆さんが肉付けをしたものと聞きましたが、検討委員会とは別にあつたのでしょうか。</p>
田頭副委員長	<p>組織委員会が出てきた意見が覆されたりした事はありませんので、おそらく検討委員会との連携はスムーズだったと想像しています。</p>
長田委員	<p>推進計画に書いてあることは役所で考えている事と矛盾がない内容になっているという話が出ていました。</p>
島田委員長	<p>個別に公民館の場合とはいうと、もっと個性的でダイナミックでよいのではないのでしょうか。生涯学習の計画を作成するコンサルタント会社</p>

の中には市の名称のみを変更して提案しているようなところもあるようなので、小金井市の場合は特色が出ているようでよかったです。自力で作ったほうが良いと思います。

竹内委員 自力で出来るのが望ましいのですが、部局も大変です。第三次基本構想を作成する際は委員が執筆者を決めて作られたようですが大変だったようです。大体今はコンサルタント会社と事務局を併用して、すばらしい案を出しています。それに対して委員がどれだけ切り込めるか力量が試されると思います。

田頭副委員長 子ども権利条例は策定委員会案と市民委員案がありました。市民委員が非常に活発に議論を重ねて、市民委員案を策定委員会でもかなり採用したと言う経緯がありました。お互い上手に連携していくべきだと思います。

石川次長 行政側としましてはこの小金井市の基本構想をもとに各部局にそれを反映させていくという方針ですので、私どもの考えも多少入れていただきながら多くの市民の参画を得て作っていただきたいと思います。

みなさんで作っていくとなりますといろいろな意見が出て、時間の制約がある中、困難な場面もあります。

島田委員長 時間となりましたので、今回は17年度の事業のまとめと18年度の本日までの事業計画・報告を踏まえて、小金井市の公民館はこれまで何をやってきたのか、これから何をやらいいかという感想を持ち寄るといことにしましょう。議論をする筋道として、市の基本計画・生涯学習推進計画・教育委員会としての社会教育計画を資料にする。それから運営審議委員として関わってきてどうであったかということ、各分館を見せていただいて企画実行委員の活躍ぶりについて感じた問題点などを持ち寄って自由に討議するという事をやってみたらいかがでしょうか。

竹内委員 大事な問題ですので毎回少しずつ時間をかけてやっていってはどうでしょうか。

島田委員長 毎回後半30分ぐらいは運営審議会の独自会議ということでいかがでしょうか。また、教育基本法改正案について資料を配りました。30日に教育法学会の研究会がありますので次回報告できると良いかと思えます。

島田委員長 本日の会議を終了いたします。